

目指す姿の共有

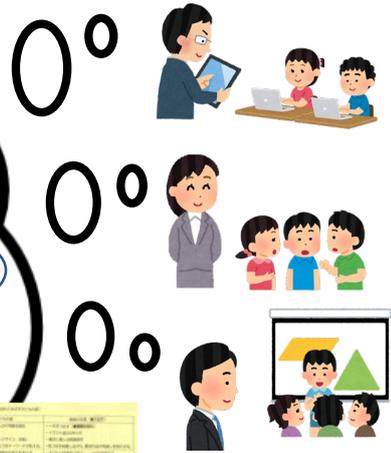
「E小スタンダード」を活用した授業づくり

過去2年間の校内研究の成果や課題を基に、本校における授業の流れを「E小スタンダード」として整理し、授業づくりに活用しました。「E小スタンダード」には、目指す児童の姿と、それに対する効果的な教員の支援を、授業の流れに即して提示しました。欄外にはどの教科の授業でも活用できる「問い」の例を記載しました。

学習の場面	目指す児童の姿	教員の支援
授業の導入	・授業が始まる前から興味関心をもち、積極的に発言 ・自分の考えや、友達や先生の考えを尊重し、受け止める姿勢を示す	・挨拶や挨拶返 ・授業の目的や流れを明確に伝える ・授業の進め方、進捗具合、進捗具合を確認し、進捗具合を確認する
授業の展開	・自分の考えや友達や先生の考えを尊重し、受け止める姿勢を示す ・自分の考えや友達や先生の考えを尊重し、受け止める姿勢を示す	・授業の進め方、進捗具合、進捗具合を確認し、進捗具合を確認する ・自分の考えや友達や先生の考えを尊重し、受け止める姿勢を示す
授業のまとめ	・自分の考えや友達や先生の考えを尊重し、受け止める姿勢を示す ・自分の考えや友達や先生の考えを尊重し、受け止める姿勢を示す	・自分の考えや友達や先生の考えを尊重し、受け止める姿勢を示す ・自分の考えや友達や先生の考えを尊重し、受け止める姿勢を示す

「E小スタンダード」

ラミネート加工し、
全教職員に配付



どの教科でも「E小スタンダード」を活用したことで、児童自身にも目指す授業や目指す姿が伝わり、共に学ぼうという意識が高まりました。

◀10月にはICTの活用方法を記載した改訂版を作成

「E小スタンダード」を全ての教職員で「共通理解」したことにより、本校で目指す「授業の流れと目指す子どもの姿」を明確にすることができました。また、「E小スタンダード」を軸に、ICTの活用や教室掲示の仕方、児童への言葉の掛け方など、一人ひとりの教員が自分の強みを生かしながら授業を改善することができました。
(E小学校 校内研究主任)